

立志

志をもち
自ら学び
ともに高め合い
逞しく生き抜く



令和5年12月22日(金)発行 校長 川崎 朗

「STEP UP」の2学期になりましたか？

本日、12月22日で2学期が終了しました。1年間で一番長い学期でしたが過ぎてしまえばあっという間であったような気さえします。9月1日の始業式の時に、有中生の2学期のテーマとして「Step Up!」を掲げました。一人一人が1学期よりもさらに成長しよう、今までの自分より一歩でも前進しよう、そして、最後の有中生としていろいろな行事の中で「有中魂」を発揮してほしい、そういう気概で2学期の学校生活に臨んでほしいという願いでこの言葉を2学期のテーマとしました。

2学期の終わりにあたって、すべての生徒が様々な場面の中で成長して1学期よりもステップアップできたのではないかと考えています。9月の修学旅行や校外学習、10月の文化発表会という大きな行事の中でたくさんの生徒が主体性を発揮しながら実行委員会に立候補したり、劇や合唱、パフォーマンスタイムなどたくさんの場面で躍動したりするなど、有中生の一生懸命に出会うことができ、本当に感動しました。

11月には生徒会長選挙があり、これまでの3年生の生徒会から2年生へのバトンタッチも行われました。新しい生徒会は、有中最後の生徒会であるとともに、新しい白石中最初の生徒会でもあります。これまで有中生が大切にしてきた「有中魂」を受け継ぎながら、白石中、福富中で大切にされてきた伝統や文化とミックスさせ、素晴らしい化学反応をみせて新しい学校文化を創造してくれることを大いに期待しています。

保護者の皆様にもいろいろな場面でご協力をいただき、本当にありがとうございました。特に、12月3日のフリー参観デーの閉校プロジェクトではたくさんの皆様に集まっただき、思い出に残る本当に素晴らしい機会となりました。皆様のおかげをもちまして大きな事故等もなく、無事に2学期を終えようとしています。明日からは冬休みで、それが終わったら1年間の仕上げの3学期となります。有中の最高のフィナーレに向けて生徒・職員が一つとなり、有中生のスローガンの「さわやかな笑顔」と「輝くひとみ」で、一日一日を大切に、最善を尽くしたいと思っています。最後まで、ご支援ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

節目を大切に、年末年始を過ごしましょう！

いよいよ、明日12月23日(土)から1月8日(月)までが冬休みとなります。

冬休みには年末年始という大きな節目を迎えます。昔から1年の終わりと始まりを迎えるためにいろいろな行事が行われてきました。これを「年中行事」といいます。例えば、12月31日を大晦日(おおみそか)といいます。この日には家庭では年越しそばを食べ、お寺では除夜の鐘がつかれています。また、1月1日は元日といい、おせち料理を食べたり、神社やお寺に初詣に行ったりするところが多くあります。子どもたちが楽しみにしている

年賀状やお年玉も年中行事としていいかもしれません。せっかくの機会ですから1年の節目を感じながら、終わりゆく1年を振り返り、新しい1年を迎えてほしいものです。

新しく迎える令和6年は、3年生にとっては義務教育を終えるという大きな変化の年になります。また、1・2年生もそれぞれ進級して新しい学年でさらに飛躍を遂げる1年となります。そして、全校生徒・職員が有明中学校から巣立ち、新しい環境へと突き進む年になります。

「一年の計は元旦に有り」といいます。年の初めに自分なりの志を立てて気持ちも新たに充実した1年になるようにスタートを切ってほしいと願っています。

年末には大掃除、餅つき、おせち料理の準備など、子どもでもできることがたくさんあります。家族の一員としての実感を持ち、家族のために役立つという経験をしてください。また、お正月には家族とともに過ごしてたくさんのことを話をしていただければと思っています。家族団らんの中で過ごすことのできる機会を大切にいただければと思っています。そして、1月9日(火)の3学期の始業式には、全校生徒全員がそろって元気な姿を見せてくれることを何よりも祈っています。よい年をお迎えください。

2学期最後まで大いに頑張りました!

12月19日(火)には文化庁主催の芸術劇場がありました。この事業は正式には「文化芸術による子ども教育推進事業」というもので、全国の小中学校にプロの劇団やオーケストラなどが出向いて、児童生徒に本物に触れる機会を提供することを目的にしているものです。本年度、本校がその事業を受けることができ、東京を拠点とする新潮劇院に来ていただき、中国伝統の京劇を鑑賞しました。演目は生徒たちにもなじみがある西遊記から「孫悟空、天界で大暴れ」でした。中国伝統の衣装やメイク、音楽や舞踏などが随所に見られ、本当にすばしかったです。また、ただ鑑賞するのではなく、本校生徒も劇に役者として出演させていただきました。3年生から希望する生徒を募って、小猿、天兵、天女の役を演じました。当初の計画では先週事前指導を行ってもらうようにしていましたが、インフルエンザ流行のため、実施できず、当日1時間のリハーサルで本番ということになりました。生徒は一生懸命に演じ、劇団の皆さんからも本番が一番よかったと言ってくれました。本当に素晴らしい機会となりました。



12月18日(月)から有中カップが開催されました。現生徒会が主催する最後の行事で、18日はクイズ大会、20日、21日はドッジボール大会をクラスマッチとして行い、大いに盛り上がりました。各学級共に2学期最後の行事であり、みんなが素晴らしい笑顔で参加している様子が本当に印象的でした。事前の企画、大会の準備、当日の運営まで行ってくれた保健体育委員会、総務委員会、生徒会本部の皆さん本当にご苦労様でした。また一つ、各学級の思い出ができ、クラスの絆が深まりました。

